

フランス語学・フランス文学専攻分野科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
フランス文学特論Ⅰ	フランス文学批評史(1)	2	今井 勉	前期 木曜日 2講時	フランス文学特論Ⅰ
フランス文学特論Ⅱ	フランス文学批評史(2)	2	今井 勉	後期 木曜日 2講時	フランス文学特論Ⅱ
フランス文学特論Ⅲ	文学をめぐる理論と常識(1)	2	今井 勉	前期 火曜日 2講時	フランス文学特論Ⅲ
フランス文学特論Ⅳ	文学をめぐる理論と常識(2)	2	今井 勉	後期 火曜日 2講時	フランス文学特論Ⅲ
フランス文化学特論Ⅰ	L'Art de la nouvelle	2	メヴェル ヤン	前期 水曜日 4講時	フランス文学特論Ⅲ
フランス文化学特論Ⅱ	パスカル『パンセ』の人間論	2	山上 治嗣	通年集中 その他 連講	フランス文学特論Ⅲ
フランス語学研究演習Ⅰ	フランス語学の現代的トピックⅠ	2	阿部 宏	前期 水曜日 5講時	フランス語学研究演習Ⅰ
フランス語学研究演習Ⅱ	フランス語学の現代的トピックⅡ	2	阿部 宏	後期 水曜日 5講時	フランス語学研究演習Ⅱ
フランス語学研究演習Ⅲ	Patrick Modiano	2	メヴェル・ヤン	前期 月曜日 5講時	フランス語学研究演習Ⅲ
フランス語学研究演習Ⅳ	Eugène Ionesco	2	メヴェル・ヤン	後期 月曜日 5講時	フランス語学研究演習Ⅳ
フランス文学研究演習Ⅰ	文学と表象芸術(1)	2	今井 勉	前期 水曜日 2講時	フランス文学研究演習Ⅰ
フランス文学研究演習Ⅱ	文学と表象芸術(2)	2	今井 勉	後期 水曜日 2講時	フランス文学研究演習Ⅱ
フランス文学研究演習Ⅲ	アフリカ・フランス語の研究	2	黒岩 卓	前期 月曜日 3講時	フランス文学研究演習Ⅲ
フランス文学研究演習Ⅳ	アフリカ・フランス語の研究	2	黒岩 卓	後期 月曜日 3講時	フランス文学研究演習Ⅳ

科目名：フランス文学特論 I / French Literature (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 木曜日 2 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LM14208 科目ナンバリング：LGH-LIT638J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：フランス文学特論 I】

1. 授業題目：フランス文学批評史（1）
 2. Course Title (授業題目)：History of french criticism (1)
 3. 授業の目的と概要：19 世紀以降のフランスの文学批評の歴史を振り返ります。文学批評は時代の政治・経済・文化の動きと密接な関係を保っています。この授業では、アントワーヌ・コンパニョンの『ブリュヌチエール論』（1997）を主要参考文献として、19 世紀後半から 20 世紀初頭のフランス第三共和政前半期の文学批評の流れをたどってみます。
 4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to deepen understanding of the history of french criticism having a close relation to politics, economy and culture.
 5. 学習の到達目標：フランスの文学批評について具体的な見通しを持つことができるようになる。
 6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students have a concrete perspective on the history of french criticism.
 7. 授業の内容・方法と進度予定：
(授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)
- 第 1 回 導入 これまでの論のふりかえり
第 2 回 動く民主主義または旧制度（1）
第 3 回 動く民主主義または旧制度（2）
第 4 回 動く民主主義または旧制度（3）
第 5 回 怒るフロール・サンジェ（1）
第 6 回 怒るフロール・サンジェ（2）
第 7 回 怒るフロール・サンジェ（3）
第 8 回 ニューヨーククーパリ（1）
第 9 回 ニューヨーククーパリ（2）
第 10 回 不正によっては正義に達せず
第 11 回 フランス祖国同盟（1）
第 12 回 フランス祖国同盟（2）
第 13 回 フランス祖国同盟（3）
第 14 回 ペロー氏の女婿（1）
第 15 回 ペロー氏の女婿（2）
8. 成績評価方法：
予習をしたうえでの授業への参加状況（または課題レポート）100%
 9. 教科書および参考書：
プリントを配付します。解説の対象は以下の書物です。Antoine Compagnon, *Connaissez-vous Brunetiere ? Enquête sur un antidreyfusard et ses amis*, Éditions du Seuil, 《L' Univers historique 》, 1997.
 10. 授業時間外学習：毎回、引用文の訳を担当していただく場合がありますので、ご準備ください。
 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：なし
連絡先：tsutomu. imai. a4@tohoku. ac. jp

科目名：フランス文学特論Ⅱ／ French Literature (Advanced Lecture) II

曜日・講時：後期 木曜日 2 講時

セメスター：2 学期 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LM24209 科目ナンバリング：LGH-LIT639J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：フランス文学特論Ⅱ】

1. 授業題目：フランス文学批評史 (2)
 2. Course Title (授業題目)：History of french criticism (2)
 3. 授業の目的と概要：19 世紀以降のフランスの文学批評の歴史を振り返ります。文学批評は時代の政治・経済・文化の動きと密接な関係を保っています。この授業では、アントワーヌ・コンパニョンの『ブリュヌチエール論』(1997) を主要参考文献として、19 世紀後半から 20 世紀初頭のフランス第三共和政前半期の文学批評の流れをたどってみます。
 4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to deepen understanding of the history of french criticism having a close relation to politics, economy and culture.
 5. 学習の到達目標：フランスの文学批評について具体的な見通しを持つことができるようになる。
 6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students have a concrete perspective on the history of french criticism.
 7. 授業の内容・方法と進度予定：
(授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)
- 第 1 回 「あの信じがたい手品」(1)
- 第 2 回 「あの信じがたい手品」(2)
- 第 3 回 「あの信じがたい手品」(3)
- 第 4 回 フロールと護教論 (1)
- 第 5 回 フロールと護教論 (2)
- 第 6 回 フロールと護教論 (3)
- 第 7 回 フロールと護教論 (4)
- 第 8 回 フロールと護教論 (5)
- 第 9 回 修道院のユダヤ女 (1)
- 第 10 回 修道院のユダヤ女 (2)
- 第 11 回 修道院のユダヤ女 (3)
- 第 12 回 知られざる傑作 (1)
- 第 13 回 知られざる傑作 (2)
- 第 14 回 名のことなき反ユダヤ主義？
- 第 15 回 絶望したる者あるいは社会主義者の教皇？
8. 成績評価方法：
毎回の授業参加状況 (または課題レポート) 100%
 9. 教科書および参考書：
プリントを配付します。解説の対象は以下の書物です。Antoine Compagnon, *Connaissez-vous Brunetiere ? Enquête sur un antidreyfusard et ses amis*, Éditions du Seuil, 《 L' Univers historique 》, 1997.
 10. 授業時間外学習：毎回、引用文の訳を担当していただく場合がありますので、ご準備ください。
 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：なし
連絡先：tsutomu. imai. a4@tohoku. ac. jp

科目名：フランス文学特論Ⅲ／ French Literature(Advanced Lecture)Ⅲ

曜日・講時：前期 火曜日 2講時

Semester：1学期 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LM12206 科目ナンバリング：LGH-LIT640J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：フランス文学特論Ⅲ】

1. 授業題目：文学をめぐる理論と常識（1）
 2. Course Title (授業題目)：Theory and common sense (1)
 3. 授業の目的と概要：この授業では、文学研究におけるさまざまな方法論を学びながら、実際の論文（レポート、研究ノート、雑誌向けの論文、修士論文や博士論文など）を構想・執筆するに当たって最も重要となる問題設定の仕方と論理展開の方法について、実例をもとに実践的に考え、実習を通して訓練を行います。
 4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to deepen understanding diversity in the research and to develop the abilities necessary in academic writing.
 5. 学習の到達目標：論文の構想と執筆について具体的かつ実践的な見通しを持つことができるようになる。
 6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students have a concrete and practical perspective of writing articles.
 7. 授業の内容・方法と進度予定：
(授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)
- 第1回 導入
第2回 内在批評と外在批評
第3回 テクストの価値づけ
第4回 先行研究へのリスペクトと文献目録
第5回 最新版・最新研究への目配り
第6回 比較断章法（1）
第7回 比較断章法（2）
第8回 「注」への注意
第9回 問題設定は自分にしかできないということ（1）
第10回 問題設定は自分にしかできないということ（2）
第11回 執筆要項の順守
第12回 研究ノートを書いてみよう（1）
第13回 研究ノートを書いてみよう（2）
第14回 修士論文の構想（1）
第15回 修士論文の構想（2）
8. 成績評価方法：
予習をしたうえでの授業への参加状況（または課題レポート）100%
 9. 教科書および参考書：
プリントを配付します。
 10. 授業時間外学習：毎回、十分な準備をして臨むこと。
 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：なし
連絡先：tsutomu.imai.a4@tohoku.ac.jp

科目名：フランス文学特論Ⅳ／ French Literature(Advanced Lecture)Ⅳ

曜日・講時：後期 火曜日 2講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LM22203 科目ナンバリング：LGH-LIT641J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：フランス文学特論Ⅲ】

1. 授業題目：文学をめぐる理論と常識（2）
 2. Course Title (授業題目)：Theory and common sense（2）
 3. 授業の目的と概要：この授業では、文学研究におけるさまざまな方法論を学びながら、実際の論文（レポート、研究ノート、雑誌向けの論文、修士論文や博士論文など）を構想・執筆するに当たって最も重要となる問題設定の仕方と論理展開の方法について、実例をもとに実践的に考え、実習を通して訓練を行います。
 4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to deepen understanding diversity in the research and to develop the abilities necessary in academic writing.
 5. 学習の到達目標：論文の構想と執筆について具体的かつ実践的な見通しを持つことができるようになる。
 6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students have a concrete and practical perspective of writing articles.
 7. 授業の内容・方法と進度予定：
(授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)
- 第1回 夏休みの課題の検討（1）
第2回 夏休みの課題の検討（2）
第3回 展開フィードバック（1）
第4回 展開フィードバック（2）
第5回 研究の過去・現状・意義（1）
第6回 研究の過去・現状・意義（2）
第7回 引用とは何か（1）
第8回 引用とは何か（2）
第9回 引用をつなぐ（1）
第10回 引用をつなぐ（2）
第11回 発表レジュメと引用集（1）
第12回 発表レジュメと引用集（2）
第13回 トポスの範囲確定と問題化（1）
第14回 トポスの範囲確定と問題化（2）
第15回 まとめ
8. 成績評価方法：
課題の提出および研究の進展状況 100%
 9. 教科書および参考書：
プリントを配付します。
 10. 授業時間外学習：毎回、十分な準備をして臨むこと。
 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：なし
連絡先：tsutomu.imai.a4@tohoku.ac.jp

科目名：フランス文化学特論 I / French Culture (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：メヴェル ヤン

コード：LM13405 科目ナンバリング：LGH-LIT642F 使用言語：英語以外の外国語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：フランス文学特論Ⅲ】

1. 授業題目：L'Art de la nouvelle
2. Course Title (授業題目)：L'Art de la nouvelle
3. 授業の目的と概要：- approches poétiques, stylistiques et thématiques de nouvelles
- pratique de l'explication de textes littéraires
- pratique de l'argumentation
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：- approches poétiques, stylistiques et thématiques de nouvelles
- pratique de l'explication de textes littéraires
- pratique de l'argumentation
5. 学習の到達目標：- étude de caractéristiques stylistiques, poétiques et thématiques de nouvelles principalement contemporaines
- apprentissage du mode d'analyse de textes narratifs
6. Learning Goals (学修の到達目標)：- étude de caractéristiques stylistiques, poétiques et thématiques de nouvelles principalement contemporaines
- apprentissage du mode d'analyse de textes narratifs
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1) Introduction
 - 2) Lecture méthodique
 - 3) Lecture méthodique
 - 4) Lecture méthodique
 - 5) Lecture méthodique
 - 6) Lecture méthodique
 - 7) Lecture méthodique
 - 8) Lecture méthodique
 - 9) Lecture méthodique
 - 10) Lecture méthodique
 - 11) Lecture méthodique
 - 12) Lecture méthodique
 - 13) Lecture méthodique
 - 14) Lecture méthodique
 - 15) Lecture méthodique
 - 15) Lecture méthodique
 - 16) Synthèse du cours
8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra d'abord la forme d'un contrôle continu, qui demande une participation active aux cours. A la fin du semestre il s'agira de présenter un bref compte rendu.
9. 教科書および参考書：

Les textes seront fournis aux étudiants.
10. 授業時間外学習：Pour toute explication de texte, il faudra effectuer les recherches utiles (vocabulaire, grammaire, références...), en s'interrogeant sur les fonctions et effets de ce texte.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス文化学特論Ⅱ／ French Culture(Advanced Lecture)Ⅱ

曜日・講時：通年集中 その他 連講

semester：集中 単位数：2

担当教員：山上 治嗣

コード：LM98826 科目ナンバリング：LGH-LIT643J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：フランス文学特論Ⅲ】

1. 授業題目：パスカル『パンセ』の人間論
2. Course Title (授業題目)：Anthropology in Pascal's Pensées
3. 授業の目的と概要：『パンセ』は、未完に終わった著作『キリスト教護教論』の草稿からなるパスカルの遺稿集である。本授業では、『パンセ』のなかの主要テーマ（「考える葦」「気晴らし」「信仰と習慣」「三つの秩序」「賭け」など）に関連する断章を取り上げ、フランス語原文に基づいて正確に読解する。また、その背景にある思想、歴史、文化についてできるだけ平易に解説する。さらに、パスカルが執筆の際に多大な影響を受けたモンテーニュ『エッセー』との関係についても随時言及する。可能な範囲で、受講生にも原文講読を担当してもらう。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The purpose of this course is to study the main themes of Pascal's Pensées — the dignity of man, divertissement, faith and custom, the three orders or the bet — based on the original text. We will also be interested in Montaigne's Essais, which inspired Pascal a lot. Volunteer participants are invited to make a presentation in the class.
5. 学習の到達目標：1. パスカルの思想および同時代の宗教・哲学思想潮流の概要を理解する。
2. フランス語の読解能力を高める。
3. 関心をもった主題について、正当な秩序に基づいて論じる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：1. To understand the thought of Pascal and the general characteristics of the philosophical and religious thoughts of his contemporary epoch.
2. To improve the reading ability of French texts.
3. To write a dissertation on a subject you are interested in.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
第1回 講義① パスカルの生涯と思想概要
第2回 原文講読と解説①：「天使と獣」
第3回 原文講読と解説②：「〈圧政〉と精神の自由」
第4回 講義② 『パンセ』の成り立ち
第5回 原文講読と解説③：「狩りと獲物」
第6回 原文講読と解説④：「一週間と全生涯」
第7回 講義③ 『パンセ』概説：「考える葦」から「賭け」へ
第8回 原文講読と解説⑤：「機械と習慣」
第9回 原文講読と解説⑥：「不確実なもののために努力すること」
第10回 講義④ パスカルとモンテーニュにおける「見かけ」の問題
第11回 原文講読と解説⑦：「知識の空しさ」
第12回 原文講読と解説⑧：「メント・モリ」
第13回 講義⑤ パスカルとモンテーニュの政治論
第14回 原文講読と解説⑨：「無知の礼賛」
第15回 まとめ
8. 成績評価方法：
授業中発表（50%）、学期末レポート（50%）
9. 教科書および参考書：
【教科書】
次の書からの抜粋をプリントにて配布する。
Pascal, Pensées, dans Les Provinciales, Pensées et opuscules divers, textes édités par G. Ferreyrolles et Ph. Sellier, Paris, LGF, 《La Pochothèque》, 2004.
【参考書】
山上浩嗣『パスカル「パンセ」を楽しむ』講談社学術文庫、2016。
塩川徹也『パスカル「パンセ」を読む』岩波セミナーブックス、2001。
パスカル『パンセ』塩川徹也訳、岩波文庫、2015-2016。
パスカル『パンセ』前田陽一・由木康訳、中公文庫、1973。
A・コンパニョン『寝るまえ5分のモンテーニュ 「エッセー」入門』白水社、2014。
10. 授業時間外学習：講読に際しては、辞書を用いて教材を予習しておくことが望ましい。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス語学研究演習 I / French Linguistics(Advanced Seminar)I

曜日・講時：前期 水曜日 5 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：阿部 宏

コード：LM13504 科目ナンバリング：LGH-LIT644J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：フランス語学研究演習 I】

1. 授業題目：フランス語学の現代的トピック I

2. Course Title (授業題目)：Questions contemporaines de langue française (1)

3. 授業の目的と概要： フランス語に関する論文を読みながら，フランス語学・一般言語学・言語学史・対照言語研究の基礎概念を紹介・解説し，フランス語の諸現象について考える．また，日本語，英語との対照的考察を行う．

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：En lisant des articles sur le français, on expliquera les concepts de base de la linguistique française, de la linguistique générale, de l'histoire de la linguistique et de la linguistique contrastive, et on mettra en relief des caractéristiques du français. On traitera également des études contrastives avec le japonais et l'anglais.

5. 学習の到達目標：・フランス語学・一般言語学・仏英日対照言語学の基礎が理解できる．

・フランス語学の研究史が把握できる．

・語学研究の方法論が理解できる．

・言語に潜在する主観性概念への関心が高まる．

6. Learning Goals(学修の到達目標)：* Comprendre les méthodologies élémentaires de la linguistique française, de la linguistique générale, de la linguistique contrastive franco-anglaise.

* Comprendre l'histoire de la linguistique française

* Comprendre la méthodologie de la recherche linguistique.

* Comprendre le concept de subjectivité dans le langage.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

この科目では Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。このクラスコードは yprdj7 です。Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

1. ガイダンス
2. フランス語学関連文献読解 (1)
3. フランス語学関連文献読解 (2)
4. フランス語学関連文献読解 (3)
5. フランス語学関連文献読解 (4)
6. 一般言語学関連文献読解 (1)
7. 一般言語学関連文献読解 (2)
8. 一般言語学関連文献読解 (3)
9. 一般言語学関連文献読解 (4)
10. 言語学史関連文献読解 (1)
11. 言語学史関連文献読解 (2)
12. 言語学史関連文献読解 (3)
13. 対照言語学関連文献読解 (1)
14. 対照言語学関連文献読解 (2)
15. まとめと筆記試験

8. 成績評価方法：

平常点 40%，筆記試験 60%

9. 教科書および参考書：

プリント使用。

参考書：阿部宏『言葉に心の声を聞く』（2015）東北大学出版会。

他に，関連図書について，適宜推薦します。

10. 授業時間外学習：教室で適宜テーマを与えますので，関連資料を調査し，各自考えていただきます

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：フランス語学研究演習Ⅱ／ French Linguistics(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 水曜日 5講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：阿部 宏

コード：LM23504 科目ナンバリング：LGH-LIT645J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：フランス語学研究演習Ⅱ】

1. 授業題目：フランス語学の現代的トピック II

2. Course Title (授業題目)：Questions contemporaines de langue française II

3. 授業の目的と概要： フランス語に関する論文を読みながら，フランス語学・一般言語学・言語学史・対照言語研究の基礎概念を紹介・解説し，フランス語の諸現象について考える．また，日本語，英語との対照的考察を行う．

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：En lisant des articles sur le français, on expliquera les concepts de base de la linguistique française, de la linguistique générale, de l'histoire de la linguistique et de la linguistique contrastive, et on mettra en relief des caractéristiques du français. On traitera également des études contrastives avec le japonais et l'anglais.

5. 学習の到達目標：・フランス語学・一般言語学・仏英日対照言語学の基礎が理解できる．

・フランス語学の研究史が把握できる．

・語学研究の方法論が理解できる．

・言語に潜在する主観性概念への関心が高まる．

6. Learning Goals(学修の到達目標)：* Comprendre les méthodologies élémentaires de la linguistique française, de la linguistique générale, de la linguistique contrastive franco-anglaise.

* Comprendre l'histoire de la linguistique française

* Comprendre la méthodologie de la recherche linguistique.

* Comprendre le concept de subjectivité dans le langage.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

授業の実施形態：ハイブリッド

1. ガイダンス
2. フランス語学関連文献読解 (1)
3. フランス語学関連文献読解 (2)
4. フランス語学関連文献読解 (3)
5. フランス語学関連文献読解 (4)
6. 一般言語学関連文献読解 (1)
7. 一般言語学関連文献読解 (2)
8. 一般言語学関連文献読解 (3)
9. 一般言語学関連文献読解 (4)
10. 言語学史関連文献読解 (1)
11. 言語学史関連文献読解 (2)
12. 言語学史関連文献読解 (3)
13. 対照言語学関連文献読解 (1)
14. 対照言語学関連文献読解 (2)
15. まとめと筆記試験

8. 成績評価方法：

平常点 40%，筆記試験 60%

9. 教科書および参考書：

プリント使用．

参考書：阿部宏『言葉に心の声を聞く』(2015) 東北大学出版会．

他に，関連図書について，適宜推薦します．

10. 授業時間外学習：教室で適宜テーマを与えますので，関連資料を調査し，各自考えていただきます

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：フランス語学研究演習Ⅲ／ French Linguistics(Advanced Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 月曜日 5講時

Semester：1学期 単位数：2

担当教員：メヴェル・ヤン

コード：LM11502 科目ナンバリング：LGH-LIT646F 使用言語：英語以外の外国語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：フランス語学研究演習Ⅲ】

1. 授業題目：Patrick Modiano
2. Course Title (授業題目)：Patrick Modiano
3. 授業の目的と概要：- apprentissage du mode d'analyse d'une œuvre complète
- approches thématiques, poétiques et stylistiques d'une œuvre narrative
- pratique de l'explication de textes littéraires
- pratique de l'argumentation
- analyse de documents
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：- apprentissage du mode d'analyse d'une œuvre complète
- approches thématiques, poétiques et stylistiques d'une œuvre narrative
- pratique de l'explication de textes littéraires
- pratique de l'argumentation
- analyse de documents
5. 学習の到達目標：Analyse d'une écriture de la mémoire et de la mélancolie qui se confronte à l'histoire individuelle et collective.
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Analyse d'une écriture de la mémoire et de la mélancolie qui se confronte à l'histoire individuelle et collective.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1) Introduction
 - 2) Introduction
 - 3) Explication de texte
 - 4) Explication de texte
 - 5) Explication de texte
 - 6) Explication de texte
 - 7) Explication de texte
 - 8) Explication de texte
 - 9) Explication de texte
 - 10) Explication de texte
 - 11) Explication de texte
 - 12) Explication de texte
 - 13) Explication de texte
 - 14) Explication de texte
 - 15) Explication de texte
 - 16) Synthèse du cours
8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra d'abord la forme d'un contrôle continu, qui demande une participation active aux cours. Celui-ci comptera pour 50 % dans l'évaluation globale. A la fin du semestre, il s'agira de présenter une explication de texte ou un compte rendu.
9. 教科書および参考書：

Patrick Modiano, Dora Bruder, Paris, Belin - Gallimard, coll. "classicolycée", édition de Marianne Hubac
10. 授業時間外学習：Pour toute explication de texte, il faudra effectuer les recherches utiles (vocabulaire, grammaire, références...), en s'interrogeant sur les fonctions et effets de ce texte.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス語学研究演習Ⅳ／ French Linguistics(Advanced Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 月曜日 5講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：メヴェル・ヤン

コード：LM21503 科目ナンバリング：LGH-LIT647F 使用言語：英語以外の外国語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：フランス語学研究演習Ⅳ】

1. 授業題目：Eugène Ionesco
2. Course Title (授業題目)：Eugène Ionesco
3. 授業の目的と概要：- découverte d'une œuvre emblématique du théâtre français moderne
- réflexion sur la notion de "théâtre de l'absurde"
- apprentissage du mode d'analyse d'une œuvre théâtrale
- pratique de l'argumentation
- analyse de documents écrits et iconograph
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：- découverte d'une œuvre emblématique du théâtre français moderne
- réflexion sur la notion de "théâtre de l'absurde"
- apprentissage du mode d'analyse d'une œuvre théâtrale
- pratique de l'argumentation
- analyse de documents écrits et iconographiques
5. 学習の到達目標：- apprentissage de la méthode d'analyse d'une œuvre théâtrale
- étude d'une œuvre majeure du théâtre moderne et réflexion critique sur la notion de "théâtre de l'absurde"
- développement des capacités d'expression et d'argumentation
6. Learning Goals(学修の到達目標)：- apprentissage de la méthode d'analyse d'une œuvre théâtrale
- étude d'une œuvre majeure du théâtre moderne et réflexion critique sur la notion de "théâtre de l'absurde"
- développement des capacités d'expression et d'argumentation
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1) Introduction
 - 2) Introduction
 - 3) Discussion autour d'une mise en scène de La Cantatrice chauve
 - 4) Lecture méthodique
 - 5) Lecture méthodique
 - 6) Lecture méthodique
 - 7) Lecture méthodique
 - 8) Lecture méthodique
 - 9) Lecture méthodique
 - 10) Lecture méthodique
 - 11) Lecture méthodique
 - 12) Lecture méthodique
 - 13) Lecture méthodique
 - 14) Lecture méthodique
 - 15) Lecture méthodique
 - 16) Synthèse du cours
8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra d'abord la forme d'un contrôle continu, qui demande une participation active aux cours. Celui-ci comptera pour 50 % dans l'évaluation globale. A la fin du semestre, il s'agira de présenter un exposé ou une explication de texte (25 %)
9. 教科書および参考書：

Eugène Ionesco, La Cantatrice chauve, Belin - Gallimard, coll. "classicolycée", édition de Jean-Luc Vincent
10. 授業時間外学習：Pour toute explication de texte, il faudra avant le cours effectuer les recherches utiles (vocabulaire, grammaire, références...), en s'interrogeant sur les fonctions et effets de ce texte.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス文学研究演習 I / French Literature (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 水曜日 2 講時

Semester：1 学期 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LM13206 科目ナンバリング：LGH-LIT648J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：フランス文学研究演習 I】

1. 授業題目：文学と表象芸術（1）
 2. Course Title (授業題目)：Literature and arts (1)
 3. 授業の目的と概要：詩人・小説家・思想家のテキストを主な題材として、19 世紀と 20 世紀における文学と芸術（特に絵画）との関わりについて考察します。この授業では、小説家ジャン＝マリー・ルアール（1943～）の自伝的小説『光の影の青春』（邦訳なし）を読んでいきます。テキスト読解の傍ら、折に触れて、ジャン＝マリー・ルアール著『印象派のなかの一家族』（ガリマール社、2016 年〔初版 2001 年〕）、ダヴィド・アジオ著『ルアール家の人々（1850–2000）』（ファイヤール社、2012 年）を参照します。
 4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to deepen understanding of the relations between literature and arts in french culture through the intensive reading of literary textes.
 5. 学習の到達目標：近代フランス文化史の理解を深める。
 6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students better understand french historical culture in modern age.
 7. 授業の内容・方法と進度予定：
(授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)
- 第 1 回 導入 これまでの物語のふりかえり
第 2 回 L'Acropole de la bourgeoisie
第 3 回 L'école du mécontentement de soi
第 4 回 Fils d'Hiram
第 5 回 La lumière de l'impressionnisme (1)
第 6 回 La lumière de l'impressionnisme (2)
第 7 回 Dans la tourmente
第 8 回 Rencontre avec un héros de roman (1)
第 9 回 Rencontre avec un héros de roman (2)
第 10 回 Pleins feux sur la passion
第 11 回 Le monastère de Samos
第 12 回 L'île maudite
第 13 回 La princesse de Grèce
第 14 回 予備 (1)
第 15 回 予備 (2)
8. 成績評価方法：
予習をしたうえでの授業への参加状況（または課題レポート）100%
 9. 教科書および参考書：
Jean-Marie Rouart, Une jeunesse à l'ombre de la lumière, Gallimard, 2000 ; Jean-Marie Rouart, Une famille dans l'impressionnisme, Gallimard, 2016 ; David Haziot, Le roman des Rouart (1850–2000), Fayard, 2012.
 10. 授業時間外学習：毎回、十分な予習が必要となります。
 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：なし
連絡先：tsutomu.imai.a4@tohoku.ac.jp

科目名：フランス文学研究演習Ⅱ／ French Literature(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 水曜日 2講時

Semester：2学期 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LM23207 科目ナンバリング：LGH-LIT649J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：フランス文学研究演習Ⅱ】

1. 授業題目：文学と表象芸術 (2)
2. Course Title (授業題目) : Literature and arts (2)
3. 授業の目的と概要：詩人・小説家・思想家のテキストを主な題材として、19世紀と20世紀における文学と芸術（特に絵画）との関わりについて考察します。この授業では、小説家ジャン＝マリー・ルアール（1943～）の自伝的小説『光の影の青春』（邦訳なし）を読んでいきます。テキスト読解の傍ら、折に触れて、ジャン＝マリー・ルアール著『印象派のなかの一家族』（ガリマール社、2016年〔初版2001年〕）、ダヴィド・アジオ著『ルアール家の人々（1850–2000）』（ファイヤール社、2012年）を参照します。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : This course offers an opportunity to deepen understanding of the relations between literature and arts in french culture through the intensive reading of literary textes.
5. 学習の到達目標：近代フランス文化史の理解を深める。
6. Learning Goals(学修の到達目標) : The purpose of this course is to help students better understand french historical culture in modern age.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
(授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)
- 第1回 第2部のふりかえり
- 第2回 La nuit d'Ibiza
- 第3回 Les fleurs vénéneuses du sexe
- 第4回 Le Mesnil au temps du H
- 第5回 Les archétypes de l'amitié
- 第6回 Destins de femmes
- 第7回 La découverte du monde réel
- 第8回 Le château du démoniaque
- 第9回 L'éclipse de Florence
- 第10回 Le bonheur dans le malheur
- 第11回 L'empire de la destruction
- 第12回 Rendu à soi-même
- 第13回 Finir dans le désert
- 第14回 Le phare de La Mola
- 第15回 第3部のふりかえり
8. 成績評価方法：
授業参加状況（または課題レポート）100%
9. 教科書および参考書：
Jean-Marie Rouart, Une jeunesse à l'ombre de la lumière, Gallimard, 2000 ; Jean-Marie Rouart, Une famille dans l'impressionnisme, Gallimard, 2016 ; David Haziot, Le roman des Rouart (1850–2000), Fayard, 2012.
10. 授業時間外学習：毎回、十分な予習が必要となります。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
連絡先：tsutomu.imai.a4@tohoku.ac.jp

科目名：フランス文学研究演習Ⅲ／ French Literature(Advanced Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 月曜日 3講時

semester：1学期 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LM11303 科目ナンバリング：LGH-LIT650J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：フランス文学研究演習Ⅲ】

1. 授業題目：アフリカ・フランス語の研究
2. Course Title (授業題目)：French Language in Africa
3. 授業の目的と概要：アフリカにおけるフランス語の研究である Camille-Roger Abolou, Les français populaires africains. Franco-véhiculaires, franc-bâtard, franco-africain, Harmattan Côte d'Ivoire, 2012 を読みます。それを通じてアフリカ地域におけるフランス語を巡るさまざまなトピックを学び、当該分野の研究に必要な基礎的な知識を身につけます。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：The participants read a monography about the issue (Camille-Roger Abolou, Les français populaires africains. Franco-véhiculaires, franc-bâtard, franco-africain, Harmattan Côte d'Ivoire, 2012), and obtain the basic knowledge for the study of this domaine.
5. 学習の到達目標：アフリカにおけるフランス語の研究に関する基礎知識を習得する。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Each learner obtains the basic knowledge for the study of French in Africa.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：
(授業はオンラインとなります)
(以下の進捗は目安で、実際には変更があり得ます)

第一回 オリエンテーション
第二回 pp. 45-46
第三回 pp. 47-48
第四回 pp. 49-50
第五回 pp. 51-52
第六回 pp. 53-54
第七回 pp. 55-56
第八回 pp. 57-58
第九回 pp. 59-60
第十回 pp. 61-62
第十一回 pp. 63-64
第十二回 pp. 65-66
第十三回 pp. 67-68
第十四回 pp. 69-70
第十五回 pp. 71-72
8. 成績評価方法：
出席(100%)
9. 教科書および参考書：
Camille-Roger Abolou, Les français populaires africains. Franco-véhiculaires, franc-bâtard, franco-africain, Harmattan Côte d'Ivoire, 2012.
10. 授業時間外学習：出席時の訳読のクオリティも評価の対象となりますので、綿密な予習が必要になります。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス文学研究演習Ⅳ／ French Literature(Advanced Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 月曜日 3講時

semester：2学期 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LM21302 科目ナンバリング：LGH-LIT651J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：フランス文学研究演習Ⅳ】

1. 授業題目：アフリカ・フランス語の研究
2. Course Title (授業題目)：French Language in Africa
3. 授業の目的と概要：アフリカにおけるフランス語の研究である Camille-Roger Abolou, Les français populaires africains. Franco-véhiculaires, franc-bâtard, franco-africain, Harmattan Côte d'Ivoire, 2012 を読みます。それを通じてアフリカ地域におけるフランス語を巡るさまざまなトピックを学び、当該分野の研究に必要な基礎的な知識を身につけます。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The participants read a monography about the issue (Camille-Roger Abolou, Les français populaires africains. Franco-véhiculaires, franc-bâtard, franco-africain, Harmattan Côte d'Ivoire, 2012), and obtain the basic knowledge for the study of this domaine.
5. 学習の到達目標：アフリカにおけるフランス語の研究に関する基礎知識を習得する。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Each learner obtains the basic knowledge for the study of French in Africa.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
(授業はオンラインとなります)
(以下の進度は目安で、実際には変更があり得ます)

第一回 オリエンテーション

第二回 pp. 107-108

第三回 pp. 109-110

第四回 pp. 111-112

第五回 pp. 113-114

第六回 pp. 115-116

第七回 pp. 117-118

第八回 pp. 119-120

第九回 pp. 121-122

第十回 pp. 123-124

第十一回 pp. 125-126

第十二回 pp. 127-128

第十三回 pp. 129-130

第十四回 pp. 131-132

第十五回 pp. 133-134

8. 成績評価方法：

出席(100%)

9. 教科書および参考書：

Camille-Roger Abolou, Les français populaires africains. Franco-véhiculaires, franc-bâtard, franco-africain, Harmattan Côte d'Ivoire, 2012.

10. 授業時間外学習：出席時の訳読のクオリティも評価の対象となりますので、綿密な予習が必要になります。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

前期の「フランス文学研究演習 III」の進度によっては、別のテキストを使うこともあり得ます。その場合は、受講者の皆さんと相談の上で決定したいと思います。